

令和6年度 兵庫県立日高高等学校 学校評価（自己評価）

回答数=38/中間 38/年間

「できた」・・・4 「だいたいできた」・・・3 「あまりできなかった」・・・2 「できなかった」・・・1

評価項目（観点）		年間評価	中間評価	昨年度
学校運営	各部・教科・学年・部顧問の連携と全職員の共通理解により、機会を逃さず協働して計画的に指導にあたる。	2.9	2.9	3.0
	外部講師や実習施設との連携を密にし、効果的な指導を実践する。	3.2	3.4	3.3
	学校便り、HP、オープンハイスクール、高校説明会などの場面で、学校や各科の特色を発信する。	3.1	3.1	3.4
	地域、実習施設等でのボランティア活動や地域貢献活動に取り組み、地域に根ざした教育を展開する。	3.0	3.0	3.1
	福祉科・看護科とも、国家試験合格100%を目指した取り組みを行う。	3.3	3.2	3.4
環境教育・省エネ	生徒・教職員が省エネ、省コストの意識を持ち、光熱費を抑え、ゴミの分別を徹底する。	2.7	2.6	3.1
保健・危機管理	熱中症の予防をはじめ、生徒の健康と安全に留意するとともに、危機管理意識をもって対応する。 （新型コロナウイルス感染症への対応）	3.0	2.9	3.3
学力向上	ICTを活用した授業について創意工夫し、さらなる指導方法の改善を目指す。	2.8	2.6	2.7
生徒指導 教育相談	教職員が校則について共通理解し、学校生活のあらゆる場面で指導にあたる。	2.8	2.8	2.8
	個人面談、アンケート等を平素の生徒指導に活かし、生徒や保護者の心に寄り添う指導を実践する。	2.8	2.8	2.8
学校関係者評価	○少し厳しい指導もパワーハラスメントにすり替えられるご時世のため、生徒の忍耐強さが欠如してきていることに加え、甘い躰を行う親も急増している。そのなかで継続した学校生活の指導を行う教職員の苦労がうかがえた。ただ、働き方も含めて今まで以上の努力や工夫が求められるのはどの業界でも同じである。過重労働による問題解決ではなく、工夫と協力の生産性向上による問題解決を目指してほしい。 ○日高高校がナンバー1ではなく、オンリー1になるような独自性をマスコミや地域にアピールして、志願者減少に歯止めをかけることに尽力してほしい。 ○今後も日高高校を応援し続ける。 ○地域、事業所（病院・施設等）と連携して、看護・介護人材の育成に取り組んでほしい。			